

# 全久院報

松本市深志 3-7-50 電話 0263-36-3211

## 全久院令和の大改修

### 来年は本堂の改修

お寺にいらっしゃった檀家の皆様は「アレ？庫裡がない」と思われた方が多いかと思えます。

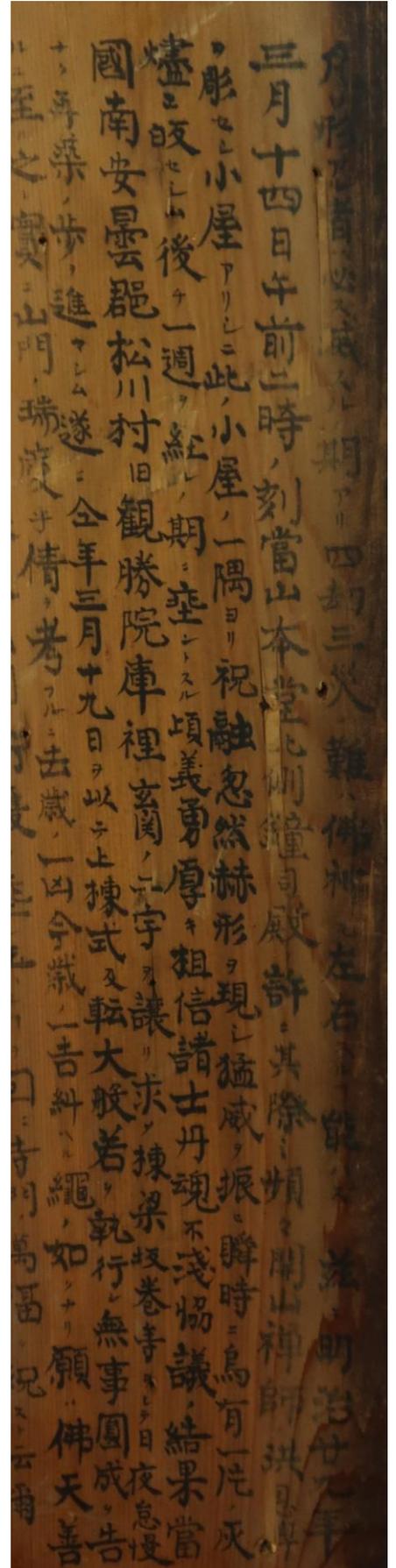
7月現在旧庫裡を解体し基礎工事が進んでいます。7月上旬には大工工事が始まり、改修工事が目に見えるようになります。今年の1月から旧庫裡の備品の整理を始め、必要なものなど整理をし、なんと！クリーンセンターに軽トラで30回以上廃棄に通いました。4月11日ハシバテクノス（株）と庫裡2の契約を完了し工事が始まりました。庫裡の解体、それから電気・ガス・水道・下水など、工事の間も使えるようにしながら、改修の後すぐ接続できるように設備しながら、弱い地盤を強化して、コンクリートで基礎工事を進めました。

今年の工事は「庫裡2」と称しています。一階のお勝手・事務所・納屋・倉庫・玄関、2階の副住職の住居、の建物です。12月には完成予定です。現在お寺の玄関も解体されており、仮の玄関から出入りしていただいています。檀信徒の皆様にはご迷惑をおかけしていますが、よろしくご協力お願いいたします。

**来年度は本堂の耐震化改修工事を行います**。現在その設計の為、打ち合わせを繰り返しています。**現在の本堂は100数十年の歳月と、松本地震のため北東に傾いてしまいました**。傾きをどのように水平に戻し改修するかを検討し、**秋にはおおよその設計や見積もり**ができる予定です。逐次皆様にご報告いたします。

庫裡解体の時、明治時代に建築された折の「棟札」が見つかりました。右の写真がそれです。詳細は「後藤先生レポート」で紹介いたします。少々見づらいのですが、**明治29年3月14日午前2時出火し、全焼、松川村廃寺となった旧観勝院の庫裡を移し、坂巻棟梁により翌年3月19日上棟を迎えた**と書かれています。現在の全久院がどう再建されたかが分かる貴重な証拠です。

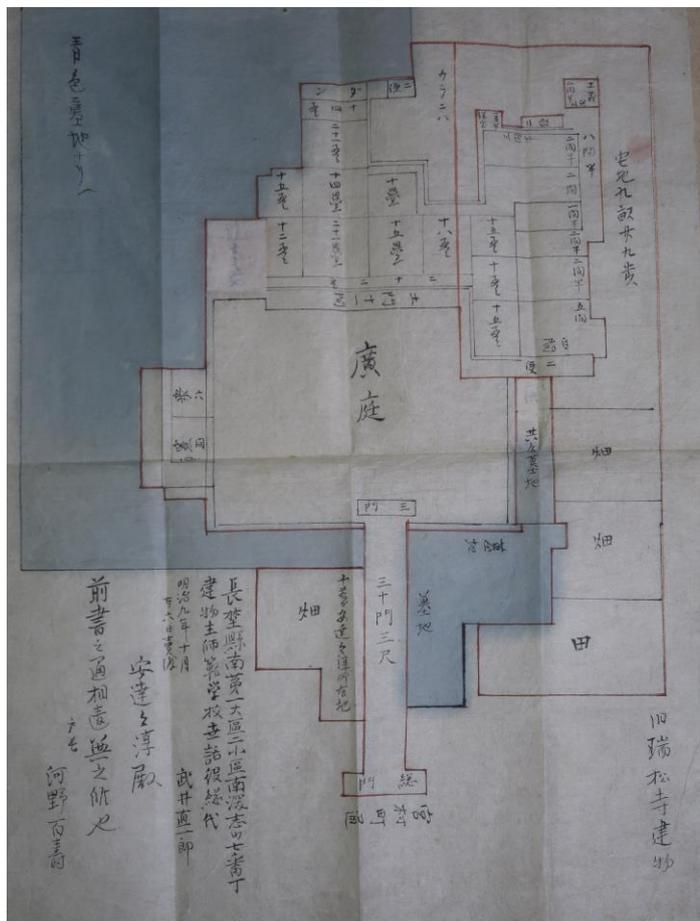
**6月末日現在、寄付の申し込みは約430軒、1億2500万円程の申し出をいただいております**。しかしロシアのウクライナ進攻、コロナ感染症、円安、イスラエルとパレスチナの紛争などにより建築費が高騰しました。**改修工事の趣意書を皆様にお配りした当初の予算の1.5倍に工事費が跳ね上がりました**。現在皆様からの寄付のお申し出が6割、目標金額の6割にとどまっています。当初の事業案の再検討が必要とされるかもしれません。会計の方法を整え、領収書の発行など行いながらさらに寄付の願



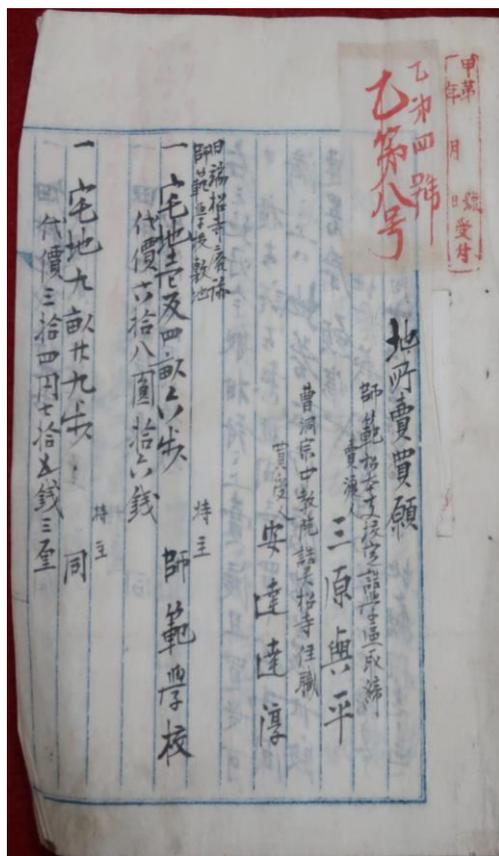
いを進めてまいります。なにとぞご協力よろしくお願いたします。

## 全久院の歴史

後藤先生によって整理されている文書の中からも明治9年頃からの資料が見つかってきました。左の絵図は紙面の都合で小さくして見づらくなっていますが、江戸時代の旧瑞松寺の見取り図です。江戸時代の全久院は本町の旧開智小学校の地にありましたが、廃寺にされ現在の地に再建されました。ここの敷地が旧瑞松寺で、やはり廃寺となり師範学校になるべく更地となっていました。全久院を廃寺から復興した「安達達淳和尚」が「共有臺」仲間を集め、



復興手続きを始めました。明治9年頃からその動きを始め、下記の文章を



長野県に提出しました。「旧瑞松寺廃跡師範学校敷地」の売買願いです。この願い書も日付けが明治11年2月22日となっていますので、復興の動きが具体的になってきた時期が分かります。

このように改修工事の進展とともに後藤先生のご指導を受けながら、全久院の歴史を調べてまいります。

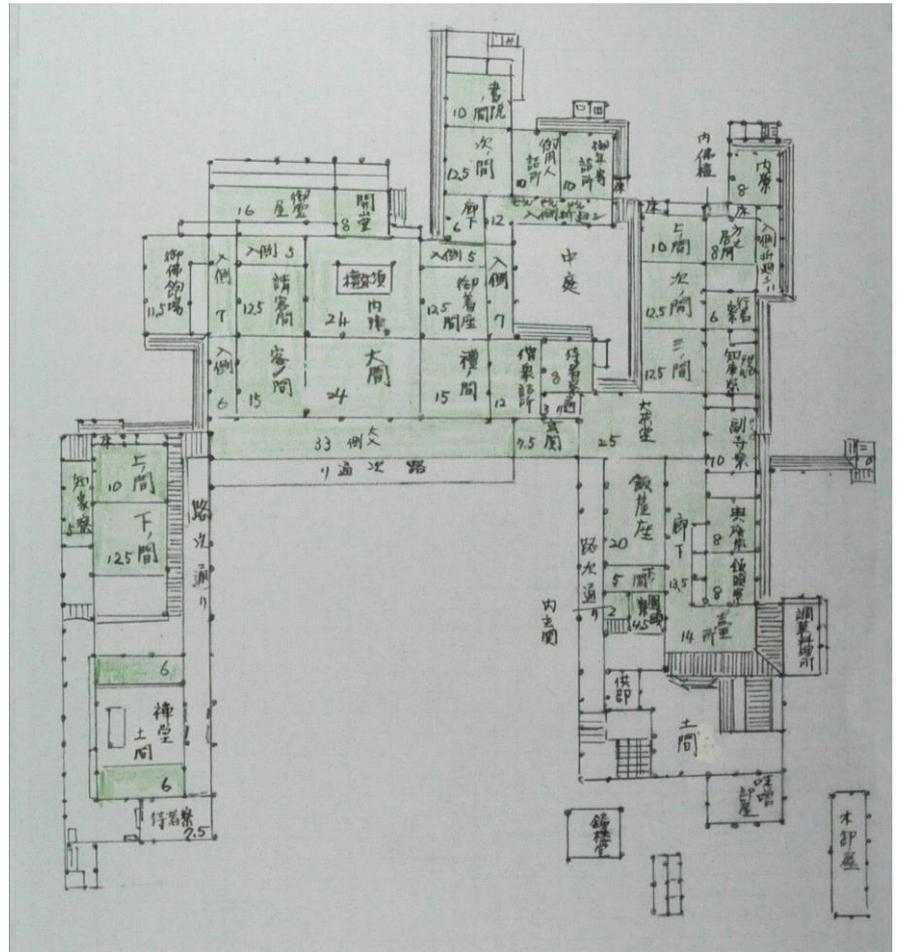
## 後藤先生レポート 3

・・・ 第3回 戸田家菩提寺全久院の姿 ・・・

寺号「全久院」は、南深志の女鳥羽川左岸にあった戸田家菩提寺全久院から引き継いでいる名です。元の寺は廃仏毀釈によって廃寺となったことを前回記しました。廃寺になったということは恐ろしいことで、戸田家にとって大事な寺だったにも関わらず史料が散逸してしまい、その姿をたどることが難しくなっています。ところどころに残る史料を発掘していかなくてはならないのですが、たまたま全久院の建物の配置を記した史料が残っていました。それは筑摩県から長野県へ引き継がれ、長野県が保存してあった史料（県宝指定「長野県行政文書」長野県立歴史館所蔵）の中がありました。これをトレースしたものが図1です。細部はこれでは見にくいので今回は全体像だけみます。

この図は文化12年（1815）のもので、江戸時代も後期の寺の様子が描かれています。寺へは現在の千歳橋（当時は大手橋）の手前から女鳥羽川左岸沿いに入っていました。寺の建物はコの字型に配置されています。北側（図では右側）に鐘楼堂がありその奥の建物が庫裏部分で、

台所や僧の食事や供飯の調理を担当する典座寮や飯台座といった部屋がありました。その奥は方丈の居間や法具を管理する知庫寮などの部屋があり、10畳以上の広さがある部屋が3部屋（上の間、次の間、三の間）中庭に面して続いていました。正面の庭をはさんで庫裏に向かい合うように南側には禅堂を中心にした修行の場の建物がありました。本堂部分は正面で、真ん中に須弥壇が置かれ内陣は24畳の広さがあり、その周りには御着座の間をはじめ5部屋（畳総数79畳）があり、須弥壇の奥に開山堂と御霊屋がありました。この寺は藩主の菩提寺でしたから藩主関係者



や重臣が参拝するため、一番奥の部分に書院の間や御用人や御年寄の詰所が設けられていました。ここは他の寺院と異なるところです。本堂の前は庭が広く設けられていて、藩主等の葬儀が行われる際には供侍などが控え、行列を整えることができるようになっていました。

これが、江戸時代の後期の全久院の姿でした。 （後藤 芳孝）

## 今年のお盆は？

現在庫裡の改修工事をしているためお勝手がありません。いつもの施食会では手作りのお弁当をお出ししていましたが、それができません。

そこで下記のような日程で開催しますので、どうぞお参りください。

**施食会** **施食会の日程** 皆様にお配りする施食旗の封筒の説明書きは例年のものです。今年のお盆用ではありませんので、全久院報の記事の説明をご参照ください。

- 8月5日（月） 12時 バザー
- 13時 護持会 令和の大改修 報告会
- 14時 施食会法要
- 15時 お塔婆を配ります

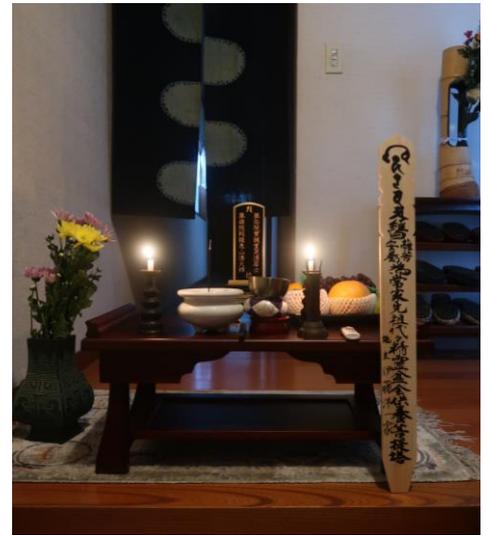
### 参会者の皆様へ

- ・ 感染を心配される方はご欠席ください。参加しても大丈夫という方も、ご無理のないようお願いします。

- ・衛生管理の徹底をお願いします。高熱・咳の方は参列をお控えください。また熱中症にも十分ご注意ください。

**棚経** お盆の棚経では例年どおり、以下の三つの方法にて棚経のご対応をお願いいたします。

- 1、以前のとおり、仏間で、仏壇や盆棚に盆飾りをする。
- 2、棚経のお参りに行く日の時間帯に玄関先へ盆飾りを出して、お寺が家に上がらずにお参りできるようにする。(右の写真は玄関先盆飾りの例です)
- 3、お盆参り、今年は断る



以上三つの方法を考慮いただき、3番をご希望の方はお盆の前に電話などでお知らせください。

**塔婆の配り方** 後日お塔婆を取りに来られる方は

- ・塔婆の棚を仮り玄関を上がっていただいた畳の間に出して
- おきますので、各自ご自分で探してお持ち帰りください。
- ・お盆費用をお持ちくださり、お支払いいただく場合は、チャイムを鳴らし、寺の者をお呼び出してください。

### 施食会にて護持会を開催します

「全久院令和の大改修」に関して進捗状況を報告し、皆様から質問やご意見を頂戴したいと存じます。

施食会当日の日程は前欄のとおりです。

**8月5日(月) 13時** 護持会にて、「全久院令和の大改修」工事の経過を報告いたします。是非ご参加いただき、ご意見頂戴できたらと思います。

### お盆参りのお知らせ

お盆参りの予定を次の表にしましたのでご覧いただき、ご準備をお願いします。本年も副住職俊浩が松本市の南半分を回り、私が北半分を回ります。毎日80軒前後の軒数を回ります。朝7時半から夕方7時ころまで回ります。事前にお配りする、盆旗を入れた案内の封筒に記入した期日と時間どおりにお参りがなかった場合は、電話などでお問い合わせください。今年の予定は下記の表のとおりです。

8月	住職の回る範囲	副住職の回る範囲
10日	安曇、明科、麻績など超遠方	安曇、明科、麻績など超遠方
11日	並柳、寿、塩尻、村井、平田、など市外南部	笹部、征矢野、南原、石芝、二子、笹賀、神林、石芝、など市外南部
12日	筑摩、神田、山辺、惣社、横田、大村、元町、原、岡田など市外北部	宮田、高宮、南松本、荒井、新村、波田、桐、沢村、蟻ヶ崎、城山など
13日	源地、日ノ出町、県、西小松、清水、県、四谷、女鳥羽、下横田など市内北東部	宮村、埋橋、筑摩、庄内、本庄、東中条、豊田町、南新町、井川城、など市内南部
14日	裏町、片端、下横田、女鳥羽、旭町、元町、横田、美須々、浅間、北深志、沢	井川城、鎌田、本庄、博労町、天神、宮村、中町、小池町、飯田町、高砂町、

	村、田町、上土、六九など市内北西部	島内、蛇原、
15日	丸の内、蟻ヶ崎、城西、宮淵、城山、新橋、島内などと、留守だったお宅、	島立、白板、渚、巾上、伊勢町、国分町、留守だったお宅
16日	留守だったお宅	留守だったお宅

## 盆棚の飾り方

右の写真は松本地方の伝統的な盆棚の飾り方です。それぞれの家によって代々伝えてきた飾り方を大切にして、お盆をお迎えください。また下記に一般的な飾り方を示しますので、飾り方の不明な部分はどうぞ参考にしてください。

### 1、棚を作る場合（右の写真参照）

上の段に本尊様、（本尊様は仏壇の中に入れ、盆中は扉を閉じておくというお宅もあります。その家のやり方を尊重してください。）お位牌、塔婆を奉る。お位牌は古い順に、向かって右、新しいものは左へお祀りします。2段目には供物をお供えします。お供物には二種類あります。水（お茶）、食（お膳、果物、菓子、嗜好品）などです。3段目に過去帳、花、燭台、線香立て、鐘、マッチや火消しや線香入れなどの道具をおきます。

### 2、仏壇を使う場合

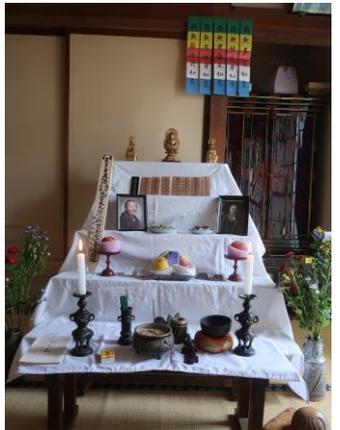
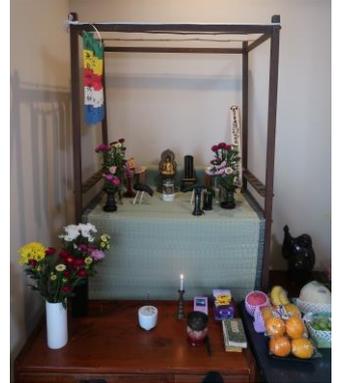
仏壇は常のとおり祀る。手前に経机や机を出すお宅は机の上に、経机を出さず引き棚を使うお宅はその上に、棚の3段目に飾る過去帳や花や鐘などを飾る。その他灯籠や飾り花、いただいた供物などは写真のとおり適所に飾る。

### 3、玄関先に飾る場合（前頁に写真を掲載してあります）

玄関先に手ごろな机を出し、お位牌・燭台・線香立て・鐘・供物をお飾りする。ワクチン接種などが進みここまでしなくても感染することはないかと思いますが、念には念を入れとお考えの方はこんな方法も良いかと思います。

### 4、またお寺が配る五色の盆旗は、写真のように広げて糸などを通して吊るか、棚に広げておいてください。

お飾りの方法の一例です。ご先祖様をお迎えするという気持ちをこめて、その家に伝わった仕方で飾っていただくのが大切なことと思います。



## 全久院の集い

全久院では後のページにあるように、座禅会・御詠歌の会・観音講・うたの会、表千家茶道稽古などの会を行っています。

### 坐禅会 . . . 六十九則「南泉白牯（なんせんびゃっこ）」 . . .

この則では、仏とは何かを、修行を達成した老師さえ分からないのに、白牯つまり獣が知っていると言っています。中国禅宗の六番目の祖師慧能にある修行僧が質問しました。「五番目の祖師弘忍の仏法は誰が会得しましたか？」慧能は「それは仏法を会得した人が合点しました」と答え

ました。修行僧は「あなたは仏法を会得しましたか？」とさらに聞きました。慧能は「私は仏法を會（え）せない」と答えました。慧能は五祖の仏法をソックリ受け取っていたにも関わらず「仏法を會せず」と言ったのです。つまり真実の仏法を會した人は「不會仏法」となり、生かじりの人に限って「會仏法」と言いたがる。本当に学問のある人は学があるような顔をしないが、生かじりの人に限って「私は学者だ」という顔をしたがる。

やはり禅のテキストに「証道歌」という本がありますが、その中にも「絶学無為の閑道人」という言葉があります。学びつくして学問を超越した人は、何もすることがない閑な人に見える、というのです。禅問答でよく「有」か「無」かというような問答の掛け合いがあります。有るといふ人に限って有るふりをしているだけで、本当に有るわけではない。無いといふ人の中には有ることを超越し切っている人がいます。その人はいかにも何も知らない閑な人のような顔をします。「有」には「無」があり「無」には「有」があります。そこをどう見抜いてゆくかが人の真の力となる、ということを知っています。

皆さんも人に会った時、

知ったかぶる人に会うと、何か損したような気がします、「絶学無為の閑道人」のような人に会うことができると清々しい思いをされたことがあるかと思います。そんな人柄素敵ですよ。

## 大黒コーナー … オペラ ルチア…

「オペラを楽しむ会」、第12回公演が決定しました。来年4月19日

(土)20日(日)14時より、オペラ ドニゼッティ作曲『ランメルモールのルチア』まつもと市民芸術館主ホールで公演されます。二日間にわたるのは出演希望が多く、ダブルキャストになりました。大黒はどちらの日に出演するか未定で、これから調整します。

現在、合唱、ソリスト共に月2回ずつの稽古をしています。これまでは、総監督の澤木先生の指導で、個人レッスンにてそれぞれの声や役の追及をして来ました。そしてさらに現在は指揮者の松本市出身の上條力秀氏が加わり、本番に向けて音楽を作っています。合唱団には、大黒が丁寧に体を使ったベルカントの発声、イタリア語の読み、歌い方などを指導しています。この合唱団には、今回も初めてオペラに参加される方も二人いらっしゃいます。一人は檀家さんです。皆で声を出して合わせていくのがとても楽しいという感想をいただいています。この会はずでに誕生から20年を迎えています。よく続いてきたなあ・・・と感慨ひとしおです。第1回目からの参加者も半分以上続いています。コロナ禍を通して、人数も少し減りましたが、新しい方のご参加もあり、地域のオペラ合唱が続いていくのは嬉しいことです。私自身も、自分が伝えていく発声法、歌い方などを通して、楽しく声も出しやすくなり、取り組んで頂けている姿を見て、やりがいを感じています。心身共にとても良いので、ご興味のある方、また次回、是非ご参加をお待ちしています。

オペラとは関係ありませんが、毎月2回水曜日午前10:00~12:00全久院にて歌の会《花かんざし》も開催しています。発声と懐かしい曲、流行っている曲など素敵な曲を皆さんと歌っています。興味のある方は是非ご参加いかがでし



ようか。

オペラ合唱団も、現在、全幕を網羅して歌えるようになってきました。これからはもっと細かいニュアンスなどを感情に載せて、本番のテンポで歌い上げていく練習をします。

一方、これからのソリストの具体的な練習方法としましては、各自声作りや自分なりに感情を載せて歌う練習をしていくと同時に、指揮者の稽古では4重唱などを合わせたり、ソロのアリアでは、指揮者と相談しながらテンポ、感情の入れ方、音程のピッチの取り方などを追及していく作業をします。



今回の演目も、とても曲が素敵で美しく、練習もとても気分が乗って楽しいです。また、ソプラノでハイESという音を出したらよいところがあります。まあ、無理に出す必要もありませんが、お客様の期待もあるかと思しますので…日々その練習もしています。脱力をして気張らないで、どれだけ高い音を美しく響かせられるか挑戦しています。

また、今回オペラに初挑戦して下さるピアニストがいます。一人でピアノを弾くときとは違い、指揮者を感じながらピアノを弾かなくてはいけないので、大変ですが、勉強になるとおっしゃっています。また、助演として花柳菓子店の廣田さん、島津さん、ダンスダンサーとして向山ダンススクールの先生と皆様が一層舞台を彩って下さることと思います。

オーケストラは、前回45名でお願いしましたが、どうしても予算的に厳しい面がありまして、今回は23名と半分のメンバーでお願いしています。それにピアノが加わり、オペラの伴奏としましても充分、楽しめることと存じます。

これから、公演するにあたり、後援、協賛などのお願いをしていく予定です。

良い公演になりますよう、精一杯頑張りますので、皆様、どうか、ご協力お願いいたします。本番は2025年4月19日(土)20日(日)14:00~16:20まつもと市民芸術館大ホールにて開催予定です。とても美しい声と、音楽、舞台になるように頑張っていきますので、お時間を作って、会場にお運びいただけますと、ありがたいです。

## **掲示板** (皆様のご参加お待ちしております)

(お寺の都合により予定変更があります。寺に連絡して確認しながらご参加ください)

### ～施食会～

8月5日(月) 12時 能登半島地震被災地支援バザー、13時 令和の大改修 護持会報告会、14時 法要、15時 お塔婆の配布。今年も、改修工事のため、食事、お説教はありません。バザーは例年通り行います。ふとん・タオル・食品・食器・石鹼などたくさんの品があります。持ち帰るのに便利な風呂敷や紙袋など持ち寄ってお越してください。かなり良い品があります。是非ご協力ください。なお7月に前もってお配りする施食旗の封筒の説明書きは例年のものです。今年のお盆のものではありませんので、「全久院報」の記事の説明に従ってください。

．．． 座禅会 ．．．

8月はあります・9月21日(土)・10月19日(土)・11月16日(土)・12月14日(土)。  
以上が下半期の日程です。毎回夕方4時集合、4時40分まで青山俊董師の市民タイムスのコラム「従容録」を住職が解説し、5時45分頃まで座禅、6時まで茶話会という予定で行います。座禅を経験していただくだけでなく、ものの見方や生き方を豊かにすることができると思います。ぜひご参加ください。

．．． ご詠歌会 ．．．

8月はあります・9月11日(水)・10月9日(水)・11月13日(水)・12月13日(水)  
午前10時30分より12時まで、白板 東昌寺住職 飯島恵道師にご指導いただきます。一緒にいかがですか。また、ご詠歌を始めたいという方に大黒が初心者コースを担当します。ご希望の方はぜひご連絡ください。

．．． 観音講 ．．．

毎月17日10時から12時半まで行います。ただし、11月は18日(月)です。恒例の観音講の内容は10時から観音様にお勤めと住職の話し、10時40分からご詠歌、11時20分から大黒の指導で唱歌の合唱12時より食事という日程です。現在15人ほどの参加者があります。気よりも良く60代から80代の方が元気に集まってきます。気楽な会ですのでぜひご参加ください。17日が土・日曜日に当たる場合は日をずらしますので、寺に確認ください。

．．． 歌の会 ．．．

8月7日(水)・8月21日(水)・9月4日(水)・9月18日(水)・10月2日(水)・10月16日(水)・11月6日(水)・11月20日(水)・12月4日(水)・12月18日(水)  
午前10時より12時まで、お茶休憩をはさみ大黒が指導します。発声練習をして、唱歌、童謡、懐かしい曲など一緒にいかがですか。また、ハーモニーを付ける曲もあります。他の催しへの参加なども企画しています。音楽を通した楽しい友達もできますよ。お待ちしております。

．．． 表千家茶道稽古場 ．．．

月曜日 13時から、水曜日 18時から、金曜日 18時半から、土曜日 13時から稽古を始めます。その30分前から炭火を入れるなどの準備を始めますので、準備が整い次第稽古を始めます。先代が稽古を始め、2～3週間ごとに掛け軸や道具が変わります。四季折々季節に合った道具に変えながらの稽古となります。参加できる曜日を決めていただき、一月に4回の稽古です。月謝は5000円です。興味のある方はどうぞ一緒に稽古をしてみませんか。

．．． 全久院ホームページ ．．．

<https://zenkyuin.or.jp/>

全久院ではホームページオを開設しています。「全久院報」をネットで見ただけのようにしてあります。管理をしてくれている檀家の丸山耕一さんと親しみやすいものにして行きたいと考えています。また、皆様と意見や情報を交換できる場に育てて生きたいと思ひます。ぜひ一度開いて見てご意見ください。